

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	2157	(H.25)No.	2157
-----------	------	-----------	------

事務事業名	障害児支援体制整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
子ども部	子ども発達支援センター	岡崎 みどり	

会計区分	事業コード	172012
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	地域生活支援事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 障害者自立支援費	障害児支援体制整備事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	2	障害者福祉
	小施策	3	自立を支える障害者福祉の推進
重点施策コード	3-2.教育環境の充実(特別支援教育)		

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
発達支援機能を福祉事業に委託することにより、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士等の専門職員の確保ができ、運営面での経費削減が見込まれます。
事業内容
子ども発達支援センターの初期相談機能のひとつである発達支援機能を果たすための未就園児教室、診断後教室、就学前教室、ペアレントトレーニング教室に専門的な支援を行うため、言語聴覚士、作業療法士等専門職員を有する社会福祉人名張育成会に事業委託を行います。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	
主な事業の実績・計画	・発達障害児地域支援事業委託(委託先:名張育成会(どれみ)) 発達障害児等及び家族への支援機能の充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供(9回開催 31家族参加)	・発達障害児地域支援事業委託 発達障害児等及び家族への支援機能の充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供	・発達障害児地域支援事業委託 発達障害児等及び家族への支援機能の充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供	・発達障害児地域支援事業委託 発達障害児等及び家族への支援機能の充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供	・発達障害児地域支援事業委託 発達障害児等及び家族への支援機能の充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供	・発達障害児地域支援事業委託 発達障害児等及び家族への支援機能の充実と発達障害児等の家族同士の交流と発達障害児等の憩いの場の提供

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	11,000千円	11,000千円	11,000千円	11,000千円	11,000千円
内 国・県支出金	5,625	4,341			
内 地方債					
内 その他( )					
内 一般財源	(0) 5,375	6,659	11,000	11,000	11,000
人工数					
職員	0.09人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	(0千円) 684千円	760千円	760千円	760千円	760千円
①+②総事業費	(0千円) 11,684千円	11,760千円	11,760千円	11,760千円	11,760千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
平成25年度より新たな施設及び組織体制の中で、子ども発達支援に係る事業の充実を社会福祉法人が運営する児童発達支援センターとの連携を密接に図りながら実施する事業として取組みます。	社会福祉法人が運営する施設や人材との連携・活用を図り、発達障害児等及びその家族への支援を行っていきます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	当該事業を含めた施策の推進が子育て・子ども支援に係る市民満足度の指標を増加させるものと考えます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 教育センターと併設した子どもセンターを開設し、0歳から18歳までの子どもの育ちと学びを総合的、継続的にサポートすることができる体制整備を行いました。今後、発達支援の推進に当り、子どもセンターを活用した取組を実施し、名張市内の全ての子ども達が地域や家庭の中で、安心して生活できる「産み育てるにやさしいまち名張」の実現を目指します。
--

## 6. 事務事業の取組に関する主な市の計画

次世代育成支援行動計画 ぱりっすくすく計画
--------------------------